

覚悟

R5.9.4 発行
校長：種吉 信二

2学期始業式

新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられて初めての夏。海に山に出かけて大いに夏休みを満喫したでしょうか。今年も例年のごとく数十年に一度の大雨や酷暑が相次いでニュースになりました。新型コロナも重症化の報告はあまり聞きませんが感染者は現在、増加傾向にあります。2学期も感染症と熱中症の対策を行いながら教育課程を進めていきます。ご協力のほどよろしくお祈りします。

始業式では、アフガニスタンの復興に尽力し、2019年に凶弾に倒れて亡くなった中村哲医師の話をしました。以下にその一部を紹介します。

みなさんこの写真の人物をご存知ですか？2019年12月4日、アフガニスタンで凶弾に倒れた福岡市出身の中村哲医師（享年73）です。中村さんは内戦で苦しむアフガニスタンに11もの医療施設を開設し、人々の命を救おうと懸命に努力をしました。

中村さんがアフガニスタンで医療活動を始めたのは1984年でした。アフガニスタンは農業国ですが、いくつもの部族に分かれて内戦を繰り返していました。そんな危険地帯に入り込んで医療活動に従事しました。

ところが、温暖化の影響により2000年には山の雪がなくなったことによる大干ばつに中央アジアが見舞われます。特にアフガニスタンの被害は大きく、農地の砂漠化が進み、食糧生産が半分に落ち込みました。100万人以上の難民発生人口の半分以上の約1,200万人が被災し飢餓線上を400万人、餓死線上を100万人がさまよったといわれています。

多くの人が食べ物を手に入れることができずに亡くなっていきました。とにかく水を確保して農業ができる状態をつくるのがアフガン人の命を救うことになると考え、2000年7月から井戸の掘削。カレーズの修復事業を始め、約1,600本の井戸を復旧、掘削しました。2003年灌漑用水路計画を発表。そして、これまでに作った用水路・給排水路は計100km以上になります。緑化に成功した面積は実に福岡市の半分の面積になるといいます。

荒廃したアフガニスタンで市民とともに人道・復興支援に尽くした中村さんが、好んで使ったことばが「一隅を照らす」でした。「今いる場所で、希望の灯をともし」という意味です。ふとした縁でアフガニスタンという国に関わり、そこで苦し

みもがいてる人を何とかして救おうと挑戦を続けた中村さん。多くの困難に直面してもあきらめずに挑戦を続けた中村さんの生きざまは私たちに大いなる勇気と希望を与えてくれます。

中村さんは自分がかかわった人（アフガニスタンの人）が幸せになることが自分の幸せと考えていたようです。お金がすべてという風潮に立ち向かって自分の生き方を貫くことは難しいことかもしれませんが、中村さんの生きざまは大切なことを教えてくれていると思います。

目標達成のために挑戦を続け、その過程で自分が成長していることを実感し、達成感や自己有用感を味わうことができれば幸せにつながると思います。それぞれの光は小さいかもしれませんが、一隅を照らす人が増えると世の中は過ごしやすくなり、幸せになる人がさらに増えます。2学期も子供たちの幸福実現のためにしなやかに考え、あきらめずに挑戦を続けていきます。

2学期学級委員

学級委員に任命状を渡しました。民主主義を学ぶ場である教室で様々な問題解決の中心を担っていきます。どうぞ応援よろしくお祈りします。（敬称略）

1年1組	山田 瑞葵	大方 月乃
1年2組	中野 太誠	神近 レナ
2年1組	大河内 脩平	尾崎 羽菜
2年2組	磯部 成良	下田 実紅
3年1組	吉武 秀真	土内 莉央
3年2組	田口 虎太郎	山口 愛心

2学期の主な取組

- (1) 総合的な学習の時間や学校行事
 <困難な課題にあえて挑戦>
 ○長崎市中総体駅伝…10/5（木）
 ○起業体験学習（長中マルシェ）…10/15（日）
- (2) 各教科
 <学びの変革>
 ○単元内自由進度学習（各教科1～2単元）
 ○学習を律するサポート（スケジュール管理）
 ○一人一台学習者用端末の有効活用
- (3) 特別活動（学級活動）
 <望ましい集団作り>
 ○修学旅行（2年）9/26（火）～28（木）
 ○合唱コンクール…10/27（金）
 ○生徒会役員改選…12/4（月）